

スクールソーシャルワーク実習指導

評価項目	A	B	C	D
スクールソーシャルワークの意義が理解し説明できる。	スクールソーシャルワークの意義について、深く理解し、的確に説明できる。	スクールソーシャルワークの意義について理解し、基本的なポイントが説明できる。	スクールソーシャルワークの意義について理解、説明に偏りがある。	スクールソーシャルワークの意義について理解不足なため、十分な説明ができない。
スクールソーシャルワークの支援に関する知識を説明できる。	スクールソーシャルワークの支援に関する知識を十分に体得して、的確な説明ができる。	スクールソーシャルワークの支援に関する知識を体得して、基本的な説明ができる。	スクールソーシャルワークの支援に関する知識について、簡単な説明ができるが、さらなる知識が必要である。	スクールソーシャルワークの支援に関する知識が不十分であり、十分な説明ができない。
スクールソーシャルワーカーの資質、倫理を理解し自己の課題について説明できる。	スクールソーシャルワーカーの資質、倫理について理解を深め、自己の課題を明確に説明できる。	スクールソーシャルワーカーの資質、倫理について一定の理解をし、自己の課題を説明できる。	スクールソーシャルワーカーの資質、倫理についてポイントを理解し自己の課題について一般的な説明ができる。	スクールソーシャルワーカーの資質、倫理について理解が不十分であり、自己の課題について十分な説明できない。
スクールソーシャルワークを概念化、理論化し体系立てて説明できる。	スクールソーシャルワークの知識を深めたうえで、概念化、理論化し体系立てて十分な説明ができる	スクールソーシャルワークの基本的な知識をもって、概念化、理論化し体系立てて基本的な説明ができる	スクールソーシャルワークの基本的な知識から、概念化、理論化し体系立て、簡単な説明ができる	スクールソーシャルワークの知識不足から概念化、理論化し体系立てて説明ができない。